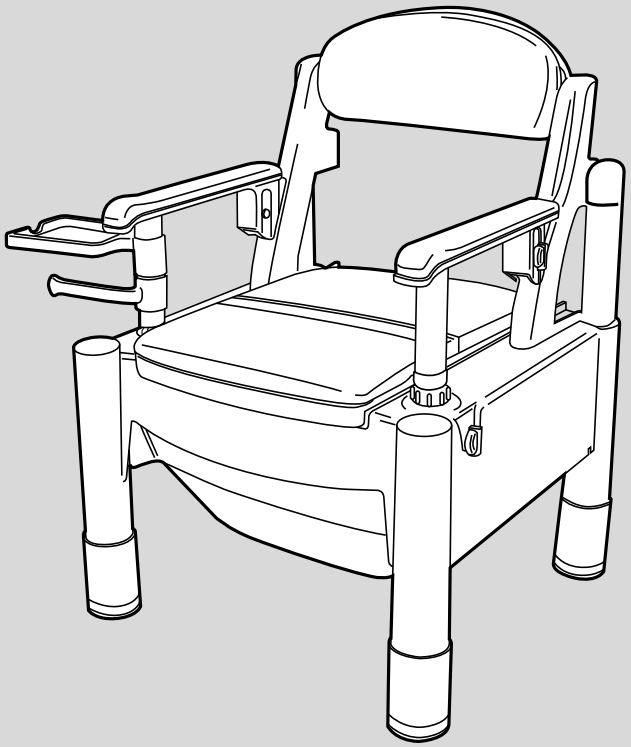
安寿（あんじゅ）

大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。

ポータブルトイレ
KX-SDR 快適脱臭
取扱説明書

最大使用者体重：100kg以下

このたびはポータブルトイレKX-SDR快適脱臭をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。



もくじ

安全上のご注意	1・2
各部のなまえ	3・4
快適脱臭の特長	5
使いかた	5~10
お手入れの方法	11・12
故障かな？と思ったら	13

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。

必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。

してはいけない「禁止」内容を説明しています。

⚠ 警告

絶対に分解・修理・改造をしないこと
正常にはたらかず、けがの原因になります。

ぬれた手でACアダプターの抜き差しをしないこと
感電の恐れがあり大変危険です。

ACアダプター・コードを破損するようなことをしないこと
傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないこと
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

ACアダプターは、根元まで確実に差し込むこと
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
●傷んだACアダプター、ゆるんだコンセントは、使用しないでください。

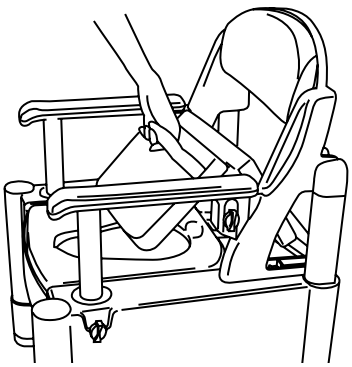
お手入れの際は、必ずACアダプターをコンセントから抜くこと

ACアダプターのほこり等は、定期的に取り除くこと
ACアダプターにほこりがたまると、湿気等で、絶縁不良となり、火災の原因になります。
●長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

⚠ 注意

用便の際、使用者が自分自身の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が付き添うこと

折れ座面の開閉は、必ず持ち手を持って行うこと
別の部分を持って行うと指をはさむ原因になります。



安全上のご注意

⚠ 注意

ACアダプターを抜くときは、コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜くこと

背もたれやひじ掛けがしっかり固定されているか確認すること
身体が不安定な状態となり、けがの原因になります。

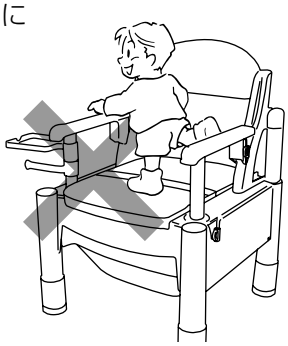
補高用脚が 4 本とも床面に接地し、本体が安定する高さに設定され、補高用脚の固定ナットでしっかり止めているか、確認すること
転倒し、けがの原因になります。

必ず平たんな場所で使うこと

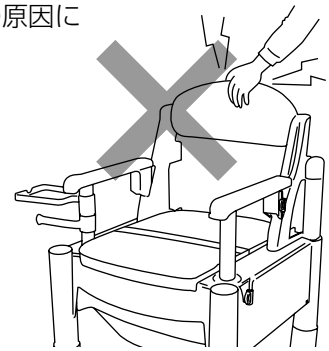
ペーパートレーやペーパーホルダーはつかまったり、体をささえるために使用しないこと
脱落して、転倒、けがの原因になります。

トイレ用暖房器具などの高温部に近づけて使用しないこと
故障や変形をする恐れがあります。

座面やひじ掛けの上に立ったりしないこと
転倒し、けがの原因になります。



背もたれを手すりがわりに持たないこと
転倒し、けがの原因になります。



体重が100kgを超える方は使用しないこと
本体が破損する恐れがあります。

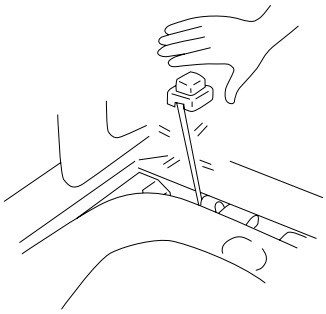
脱臭器は、水洗いしないこと
脱臭器の内部に水が入ると故障の原因になります。

脱臭器に小便や水をかけないこと

脱臭器の排気口に物や手を入れないこと
回転するファンにまきこまれ、けがの原因になります。また、ファンの故障の原因になります。

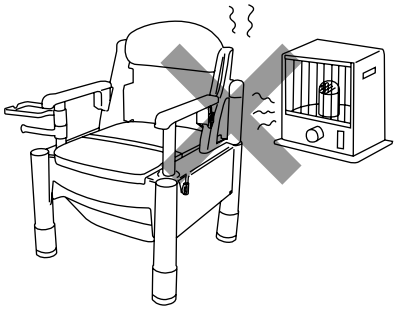
落としたり、強い衝撃を与えないこと
故障、破損をする恐れがあります。

センサーを引っ張らないこと
故障の原因になります。
●持ち運ぶときは、センサーやセンサーコード、ふただけを持たずに、必ず脱臭器の本体を持ち、センサーに手をそえて持ってください。



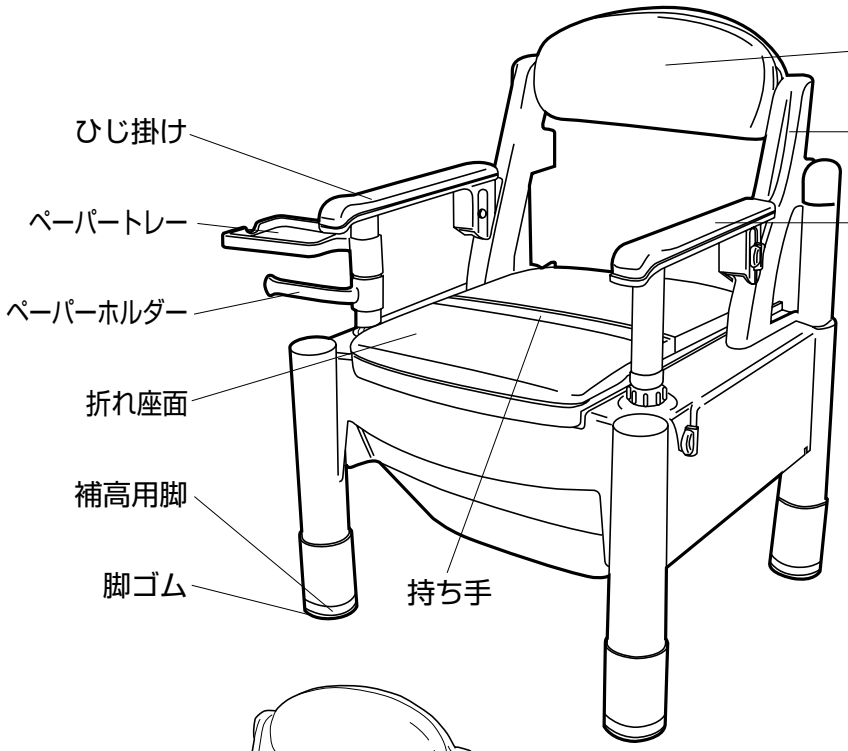
専用のACアダプター以外は使用しないこと
故障の原因になります。

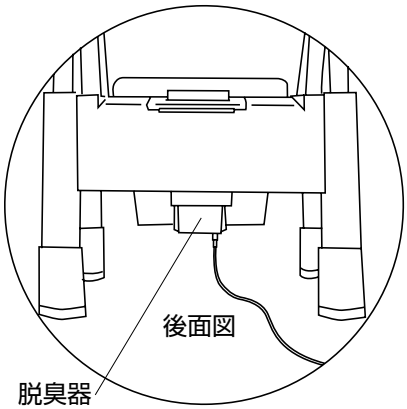
直射日光が当たる場所や、火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。

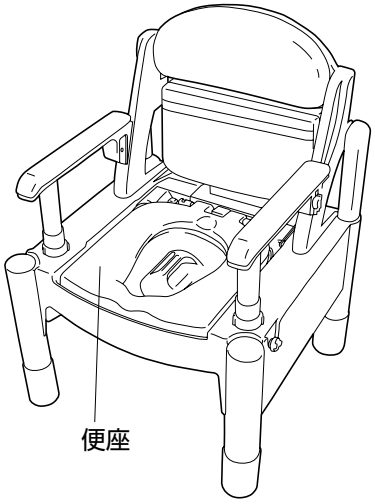


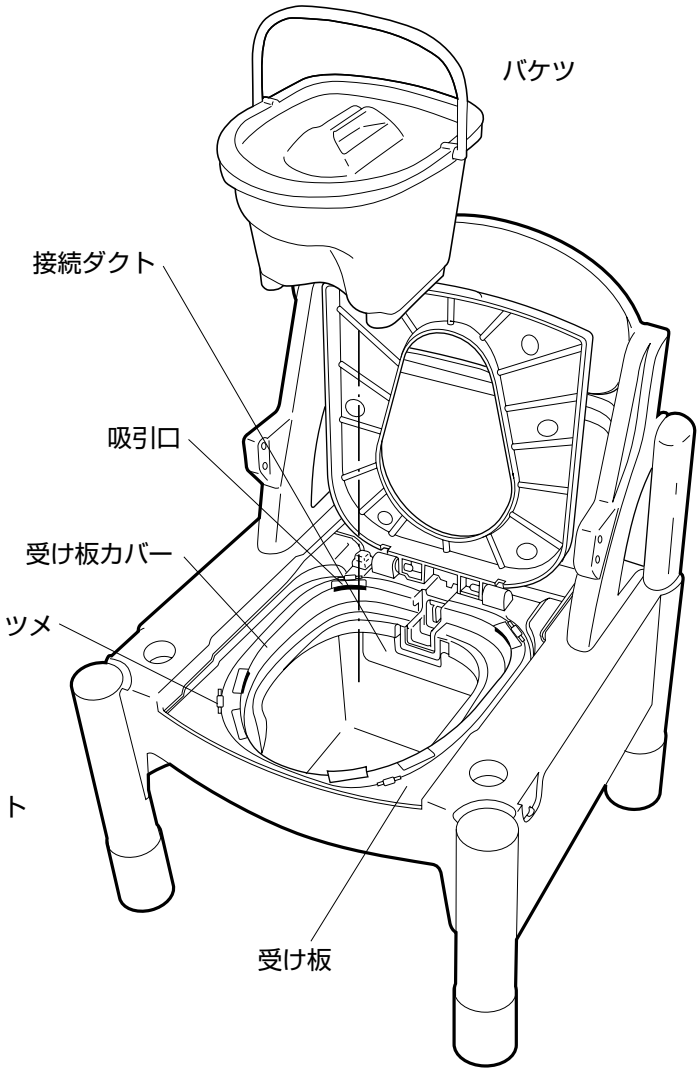
お手入れの際は、必ず本体からACアダプターを外した状態で行うこと
タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

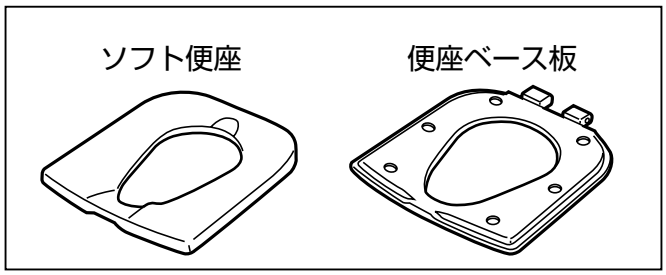
各部のなまえ

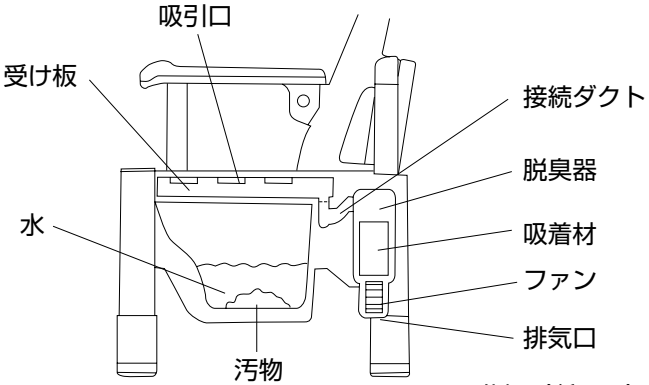








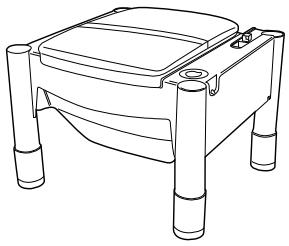




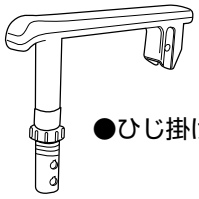
分解（断面図）

部材・付属品

部材

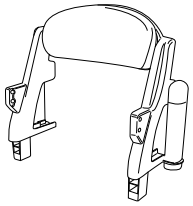


●ポータブルトイレ本体　1台



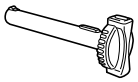
●ひじ掛け（左・右）各1本

●背もたれ固定ピン　2本



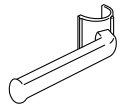
●背もたれ　1個

（短・後用）2本

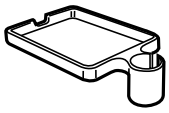


（長・前用）2本

●ひじ掛け固定ピン

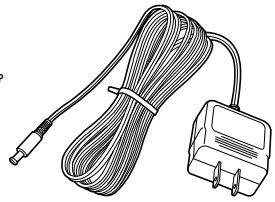


●ペーパーホルダー　1個



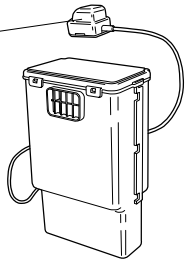
●ペーパートレー　1個

●ひじ掛け穴キャップ　1個



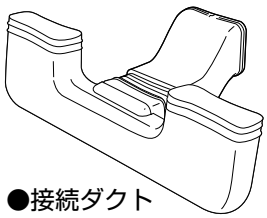
●ACアダプター　1個

センサー

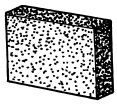


●脱臭器

以下の部材は、ご購入時には、ポータブルトイレ本体に組み込まれています。



●接続ダクト



●プレフィルター

付属品
●防臭消耗品
（消臭剤フォームタイプ　1本）

■仕様

品名　ポータブルトイレ　KX-SDR　快適脱臭		
	ポータブルトイレ　本体	脱臭器
材質	本体・便座ベース板・バケツ ひじ掛け・背もたれ ペーパーホルダー ペーパートレー・補高用脚　} ポリプロピレン ひじ掛けクッション 脚ゴム　} エラストマー 座面・背もたれクッション：ウレタンフォーム ：合成皮革 ソフト便座：EVA（抗菌加工）	本体：ポリプロピレン 接続ダクト：ポリエチレン プレフィルター：ポリウレタン 吸着材：触媒配合ハニカム活性炭
寸法	幅62×奥行59.5×高さ79.5～86.5cm （便座までの高さ　35～42cm）	幅13.5×奥行95×高さ22.1cm
重量	約11kg	約0.7kg
バケツ容量	約10ℓ	ー
電源	ー	AC100V（50/60Hz共用） DC12V（ACアダプター使用）
消費電力	ー	約5W
脱臭方法	ー	吸着脱臭方式
吸着材寿命	ー	約7年（1日1時間使用した場合）
動作	ー	人体を感知し自動的に起動 最終感知から5分後に停止
コード長	ー	約1.9m

廃棄上のご注意　おすまいの地域の分別ルールに従って廃棄してください。

快適脱臭の特長

1 吸引構造

便座の下に6ヶ所の吸引口があり、脱臭器とつながった吸引口から臭いを強力に吸い取ります。

2 自動運転

センサーが、ポータブルトイレに近づく人に反応して自動で運転を開始します。また、人がはなれてから、約5分後に停止するタイマーつきです。

3 吸着材

吸着材は、触媒配合ハニカム活性炭で、1日１時間の使用で約7年間使用することができます。

使いかた

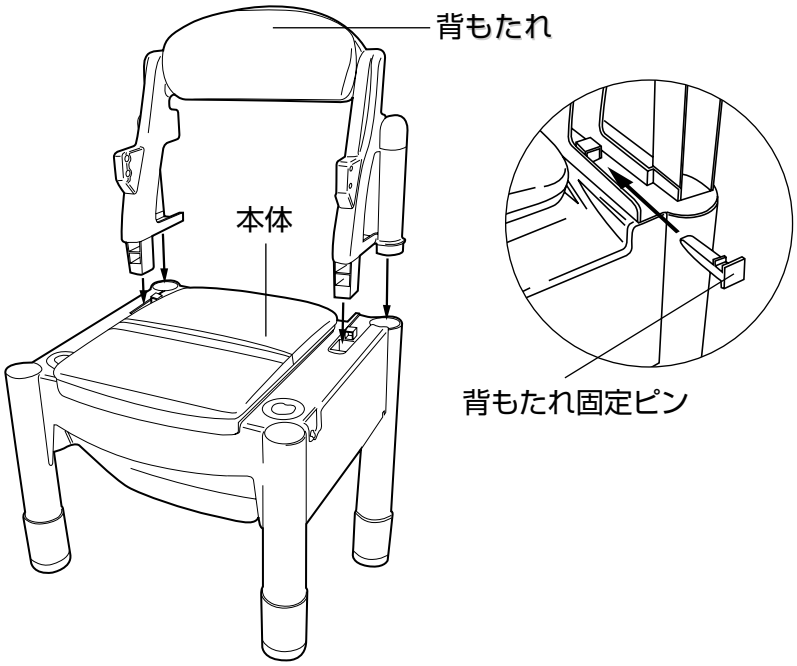
組み立てかた

1 背もたれを固定する。

①背もたれクッションの付いた方を前方として、本体取り付け穴にはめ込みます。
②背もたれは、後ろ側から、左右両支柱のつけ根にある、固定ピンわくに背もたれ固定ピンを差し込んで固定してください。
③背もたれが、確実に固定されたか、確認してください。
④背もたれを取り外す場合は、① ②を逆の手順で行ってください。

⚠ 注意

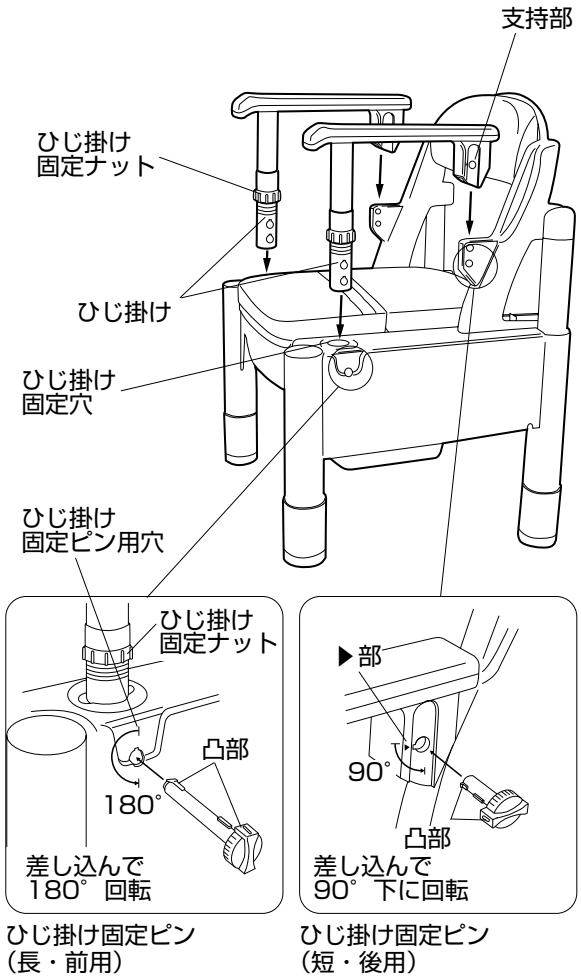
背もたれは、必ず背もたれ固定ピンで固定すること
背もたれが外れ、けがの原因になります。



使いかた

2 ひじ掛けを固定する。

①ひじ掛け支柱を本体のひじ掛け固定穴に差し込み、もう一方の支持部を、背もたれの支持部にはめ込みます。



ひじ掛け固定ピン
（長・前用）

ひじ掛け固定ピン
（短・後用）

特長 1 ひじ掛けの高さは2段階、3cm間隔で調節できます。

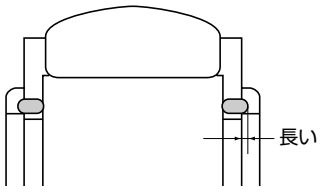
②ひじ掛け固定穴の横にある、ひじ掛け固定ピン用穴と、ひじ掛け支柱の穴（2ケ所　3cm間隔）を上か下どちらかの穴と合わせます。

③ひじ掛け固定ピン（長・前用）の凸部を上にして差し込み、180°回転して固定します。

④ひじ掛けのもう一方の支持部も、ひじ掛け固定ピン（短・後用）の凸部をひじ掛けの▶印に合わせて差し込み、90°下向きに回転して固定します。

⑤最後に、ひじ掛け固定ナットを手で動かなくなるまで右に回して、ひじ掛けのガタツキがないようにしてください。

特長 2 ひじ掛けの内寸は、40cmと42.4cmの2段階調節です。図の長い方を外側にすると内寸は42.4cm。左右のひじ掛けを入れ替えて、短い方を外側にすると、40cmとなります。



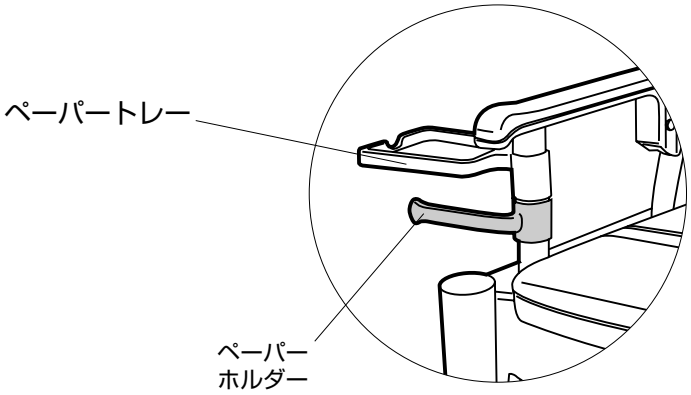
使いかた

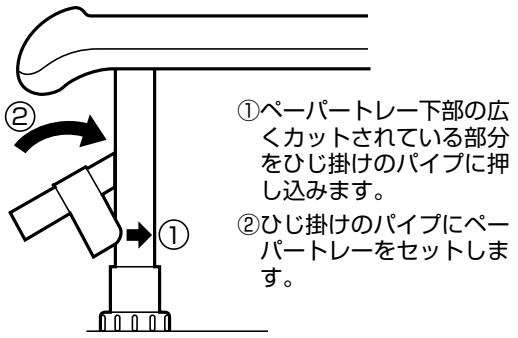
3 ペーパーホルダー・ペーパートレーを取り付ける。

①ペーパーホルダー及びペーパートレーは、ひじ掛け支柱にお好みの向きと高さで取り付けてください。

⚠注意

※ペーパーホルダーにはトイレットペーパー以外のものは、掛けないこと
ペーパーホルダー及びペーパートレーは、折れ座面や、便座の開閉に支障のない位置で使うこと
ペーパーホルダー、ペーパートレーにつかまったり、体をささえるために使用しないこと



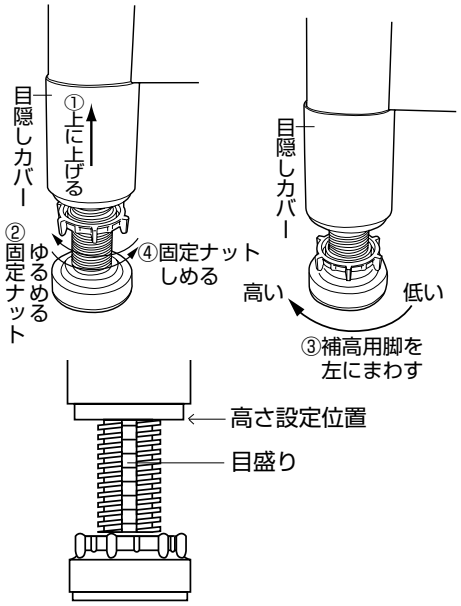


①ペーパートレー下部の広くカットされている部分をひじ掛けのパイプに押し込みます。
②ひじ掛けのパイプにペーパートレーをセットします。

4 高さの調節をする

特長3 **補高用脚は、便座までの高さを35～42cmに無段階で調節できます。**

必要に応じて 4 本の補高用脚をそれぞれ左に回して高さを調節してください。
①まず補高脚目隠しカバーを上にスライドさせます。
②固定ナットをゆるめます。
③3本の補高用脚を左に回しながら目盛りで調節し、残りの１本はトイレを使用する場所で安定感を確認しながら調節します。
④補高用脚は固定ナットでしっかり止めてください。（便座までの高さ：35～42cm）



調節のこつ

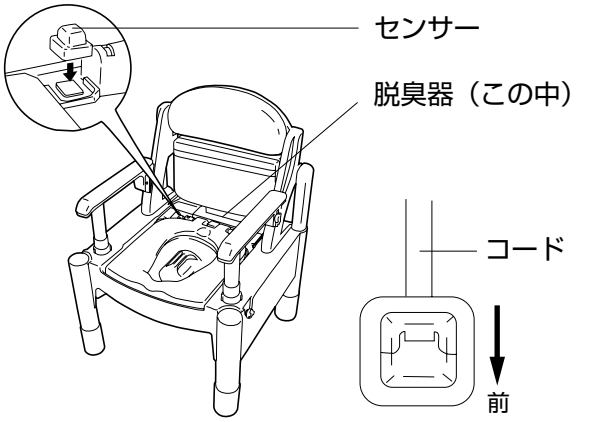
3 本の補高用脚を目盛りで調節し、最後の１本を、トイレを使用する場所で安定する高さに調節するとガタツキなく設置できます。

⚠注意

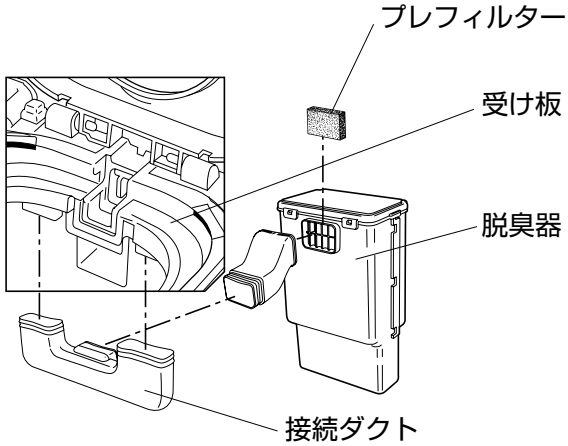
※補高用脚は、本体が安定する高さに調節し、固定ナットをしっかり閉めて使用すること
本体が不安定な状態で使用すると、転倒し、けがの原因になります。

5 脱臭器の使いかた

①脱臭器はポータブルトイレ本体の後方折れ座面取り付け部の下に収納されています。
②脱臭器本体とリード線でつながった白い部品が、センサーです。センサーは、座って右後方の受け板に取りつけられていることを確認してください。外れている場合は、図の向きを参考に、マジックテープで固定されるように取りつけてください。



③受け板と接続ダクトがしっかり接続されているか確認してください。接続ダクトは、図の様に 2 分割式です。外れている場合は、ダクトの口を手でつまみ、受け板の接続位置に差し込んでください。
接続ダクトは、脱臭器に差し込むことができません。脱臭器をポータブルトイレ本体に取り付けると、受け板に取り付けた接続ダクトとつながるようになっています。



注意

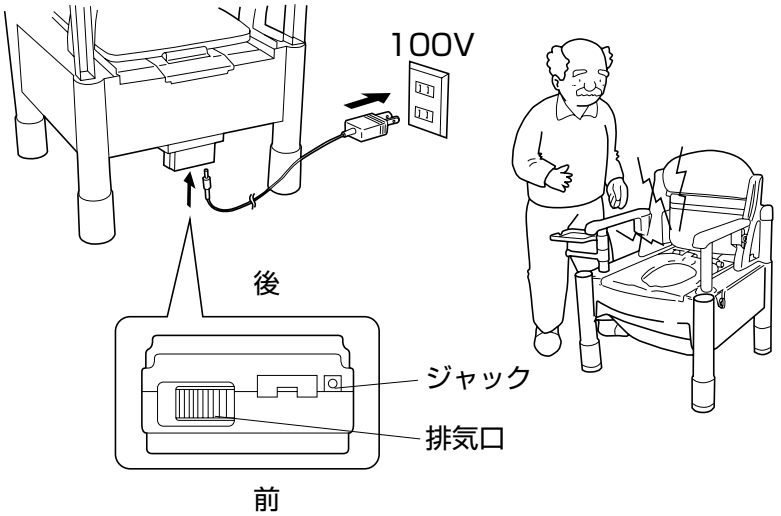
※接続ダクトはしっかり接続してあることを確認すること。また、異物等を挿入したりはさみ込まないこと
吸引力を低下させたり、故障の原因になります。

④ACアダプターの端子を脱臭器本体の底にあるジャック穴に差し込み、ACアダプター本体を、家庭用（100V 50/60Hz）コンセントに差し込んでください。約30秒後、センサーが待機状態となり、人体を感知すると、脱臭器が運転を開始します。

⑤センサーは、人体を感知し続けると運転を継続しますが、人体を感知しなくなってから、約 5 分後に運転を停止します。ご使用中に脱臭器が停止した場合はセンサー部に手をかざして再起動させてください。

特長4

脱臭器の中には、触媒配合ハニカム活性炭の吸着材が入っており、悪臭を吸着して取り除きます。吸着材の寿命は、1日1時間の使用で約7年です。



6 快適な使い方

本製品には、防臭消耗品が入っております。ご活用いただき、快適にお使いください。

①防臭消耗品の使い方
バケツに約2ℓの水（バケツ内側の2と表示のある線まで）を入れ、消臭剤フォームタイプを入れておくと泡が臭いをしゃ断します。

> ⚠ 注意
> **当社指定の防臭消耗品以外は使用しないこと**
> 脱臭器の吸着材は、臭いの成分を吸着するため、香料を含む薬剤を使用すると、吸着材の寿命が短くなる恐れがあります。

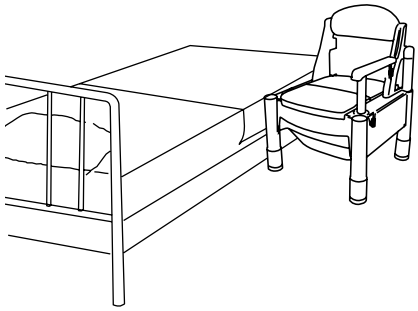
②便器に座る前に用便されてしまう場合もあります。あらかじめポータブルトイレ用消臭・防水シート（別売）を敷いておくと、より快適にお使いいただけます。

③折れ座面を開け、便座を上げて、バケツの蓋を外してご使用ください。
※バケツ内へは、ティッシュペーパーなど、トイレットペーパー以外のものは入れないこと。
トイレで処理する際、詰まる原因になります。

④使用後はポータブルトイレ本体からバケツを取り出して、汚物をトイレに流してください。

特長5 ひじ掛けが、着脱できます。

⑤ベッド等から移乗する場合は、ベッド側のひじ掛けを外し、
ひじ掛け固定穴にひじ掛け穴キャップを取りつけてお使いください。

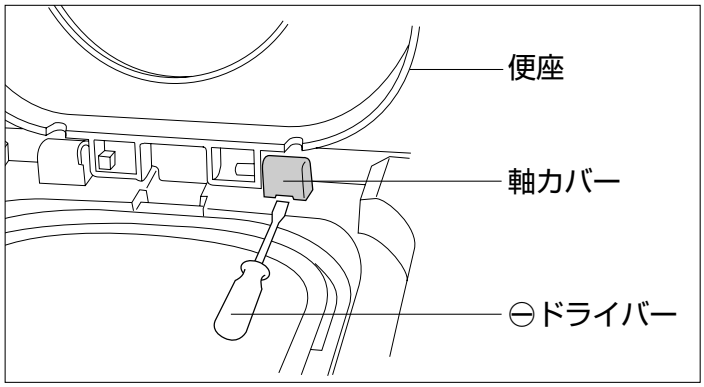


⑥移乗後、上体の安定を保ちたい場合は、ひじ掛けを取りつけてご使用ください。
ひじ掛けの着脱は、使いかた（組みたてかた）2と特長2を参照してください。

7 便座の取り外しかた

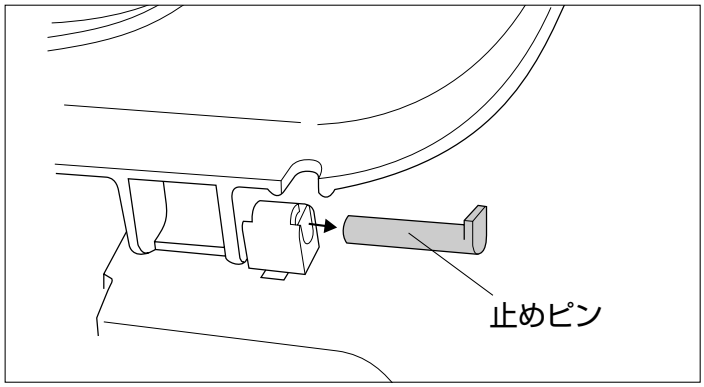
特長7 お手入れや、便座の取り外しができます。

①折れ座面を開け便座を上げてください。



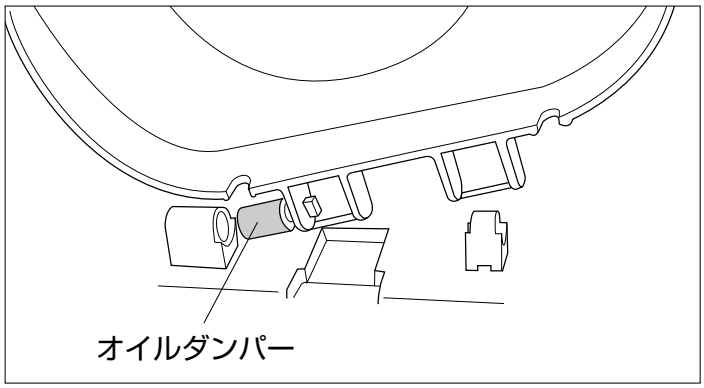
②軸カバーの溝に⊖ドライバー等を入れ、上に引き上げてください。

③止めピンをぬき、便座を軸受けから外してください。



④受け板の軸穴からオイルダンパーをぬき、便座を外してください。

⑤組み立てる場合は、④から逆の手順で行ってください。

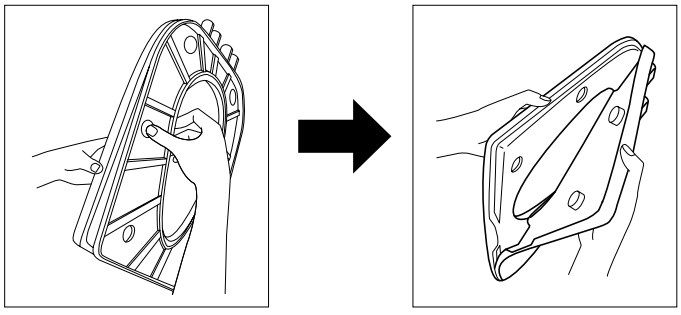


注意

便座の組み立ては、正確に行うこと
便座がしずかに閉まり、大きなガタツキのないことを確認してください。

便座は、ソフト便座と便座ベース板に分解できます。

凸部を押して分解してください。



注意

ソフト便座と便座ベース板に分解する際、無理に引っぱらないこと
強く引っぱると、ソフト便座が破損します。

お手入れの方法

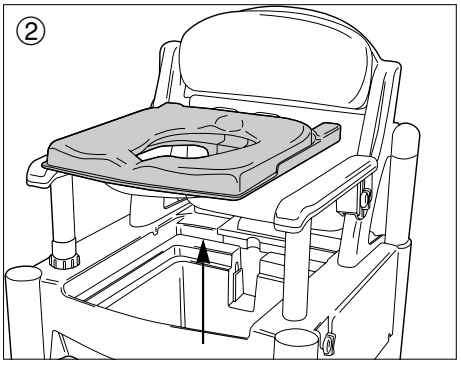
1 普段のお手入れは

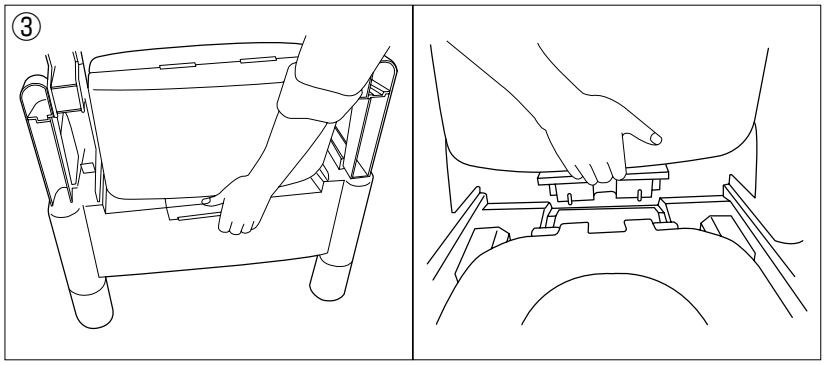
本体の汚れは、スポンジかやわらかい布に住居用洗剤
（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

特長8 便座・受け板・座面は、本体から取り外すことができます。
受け板は、ダクト部分を分解して掃除することができます。

2 便座・受け板・座面の外しかた

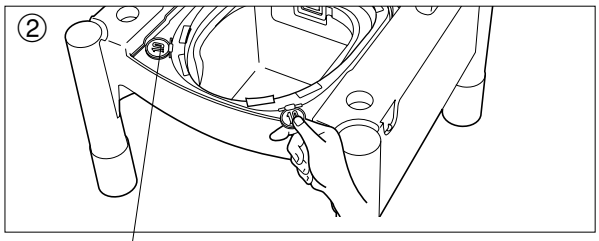
①便座を上げて、バケツを取り出します。
②接続ダクトを外し、便座・受け板を取り外します。
③折れ座面を軸受けごと取り外します。
（座面・受け板を取り外さなくても、座面を外すことができます）



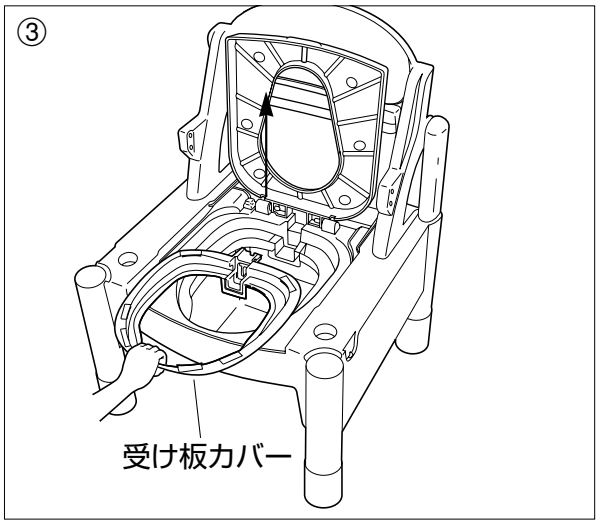


3 受け板カバーの外しかた

①便座を上げて、バケツを取り出します。
②受け板の前方にある2ヶ所のツメを、図のように硬貨等を差し込んで外します。
③受け板カバーの前方を外して、ななめ上前方へ引き上げて外します。
④取り付ける時は、受け板カバーの後方を受け板に差し込み、受け板カバーの4ヶ所のツメを受け板にしっかりはめ込んでください。



ツメに硬貨等を差し込んで、外す



お手入れの方法

4 接続ダクトの外しかた

特長9 接続ダクトは、着脱、分解することができます。

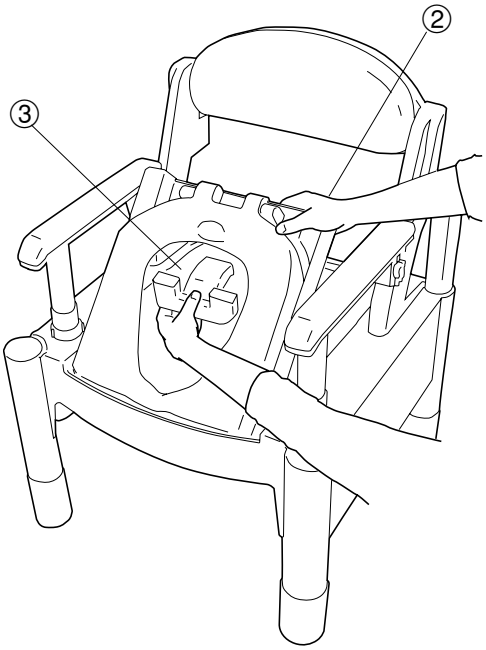
①座面を外してください。センサーを外し、脱臭器の上にのせてください。

②受け板の後部を少し持ち上げて、接続ダクトを外します。

③接続ダクトは、２分割できます。手で簡単に分解できます。

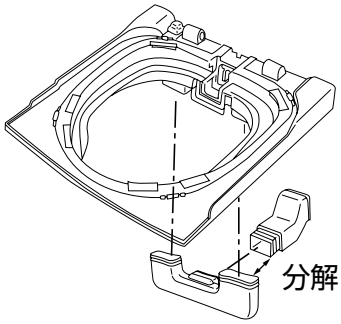
④組み立てる時は、下の図を参考にし、ダクトの向きに注意して、受け板裏側の差し込み口に接続してから、本体に受け板を取りつけしてください。

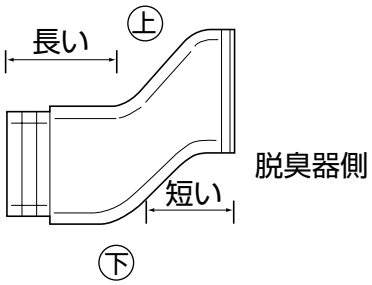
⑤センサーを受け板のセンサー取り付け部に取りつけてください。



注意

センサーコードを引張ったり、折り曲げたりしないこと
断線して故障の原因になります。





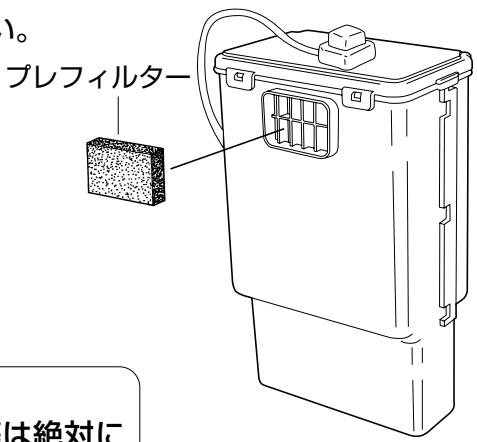
5 脱臭器のお手入れ

①ACアダプターを取り外し、センサーを受け板から外してください。

②脱臭器をポータブルトイレ本体から引き上げ取り外してください。

③受け板内のダクト、及び接続ダクトは、汚れやほこりが溜りやすいので、時々ブラシ等で、ほこりを取り除いてください。また、落ちにくい汚れは、水で洗い流してください。

④接続ダクトと脱臭器の間にあるプレフィルターは、ほこりがたまりやすいので、月に１度は取り外して、やわらかいブラシ等でほこりを取り除いてください。



注意

※タワシや磨き粉・研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。

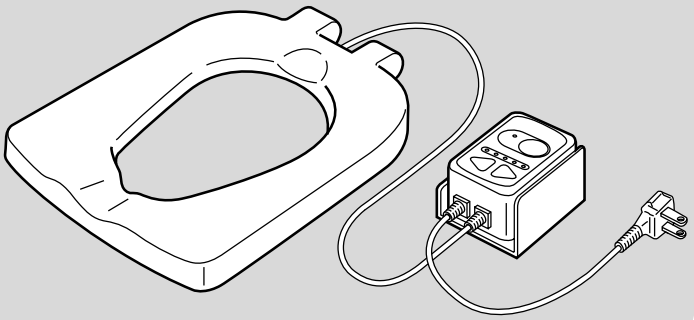
故障かな？と思ったら

●修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

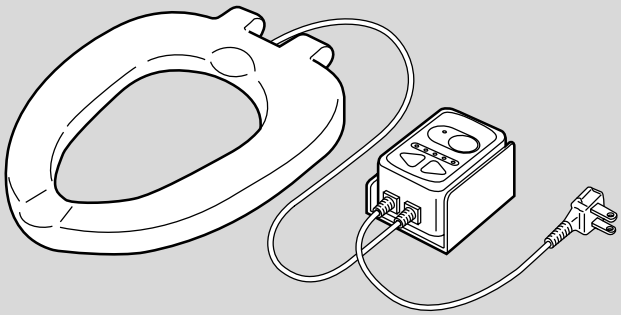
こんなとき	調べるところ・原因・対策
においが取れない	・脱臭器を取り外し、プレフィルターのお手入れをしてください。 ・受け板の吸引口、脱臭器排気口をふさいでいるものがないか、確認してください。また、排気口に手をかざして、風が排気されていることを確認してください。 ・受け板カバー・接続ダクト・脱臭器がしっかり接続されているか、確認してください。
センサーに手などをかざしても作動しない	・センサーが汚れていませんか。 ・脱臭器・コンセントにACアダプターをしっかり差し込んでください。また2～3回抜き差しをくり返してから、しっかり差し込んでください。
人がいないのに作動し続ける	・座面が開いていませんか？開いていると、センサーが近くの人を感知する場合があります。使用しないときは、座面を閉めてください。

暖房便座取扱説明書

●ポータブルトイレ用

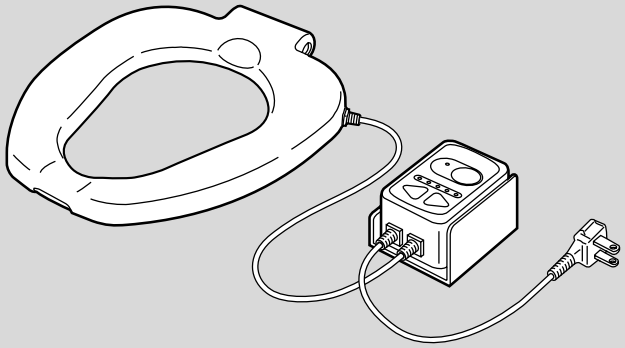


KX暖房便座



FX暖房便座

●サニタリエース用



このたびは暖房便座付ポータブルトイレ・サニタリエースをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。正しくお使いいただくため、ご使用前に、この暖房便座取扱説明書並びにポータブルトイレ・サニタリエースの取扱説明書を必ずお読みください。
なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1~2
各部のなまえ	3
使いかた	4
お手入れの方法	4
故障かな？と思ったら	5

ARONKASEI CO.,LTD.

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
⚠注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

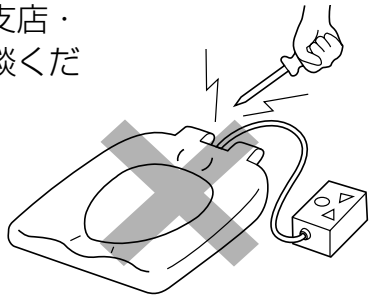
■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

❗ **必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。**

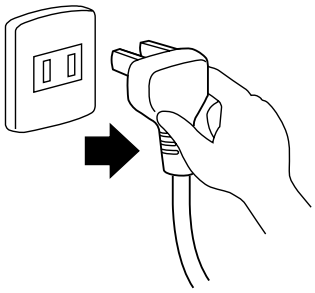
🚫 **してはいけない「禁止」内容を説明しています。**

⚠警告

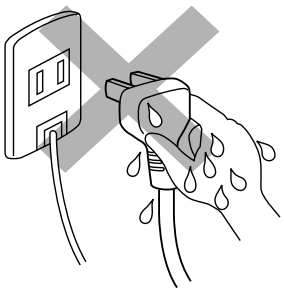
分解・修理・改造は絶対にしないこと
感電や発火の原因になります。分解・修理が必要なときは、お買い求めになったお店か裏面の支店・営業所にご相談ください。



電源プラグを抜くときは、コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜くこと
電源コードが破損し、火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししないこと
感電の恐れがあり大変危険です。

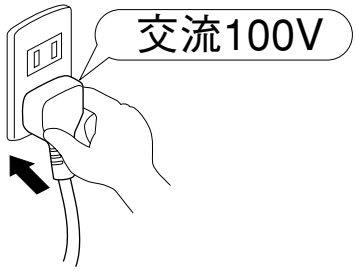


電源プラグの差し込み部分のほこりは取り除くこと
火災の原因になります。

焦げ臭いなど異常がある場合は、すぐ電源プラグを抜くこと
感電や火災の恐れがありますので、お買い上げの販売店または、裏面の支店・営業所にご連絡ください。

電源は配線工事に関する法令・規程に従った「有資格者」による配線工事の電源を使用すること
火災や感電の原因になります。

配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外では使用しないこと
他の器具と併用し、定格を超えると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火の原因になります。

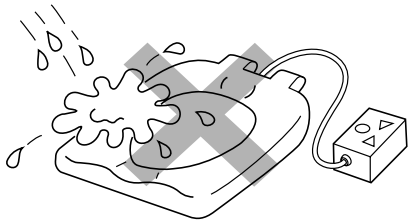


⚠ 警告

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しないこと
火災・感電の原因になります。

電源コードや電源プラグを無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したり、重いものを載せたり、はさみ込んだりしないこと
破損して、火災・感電の原因になります。

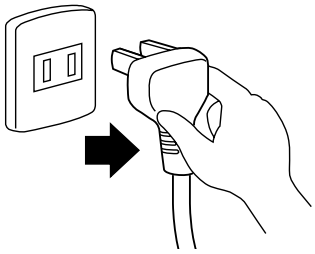
便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。



便座・スイッチボックスは表面に結露を生じるような湿気の多い場所（浴室等）では使用しないこと
感電やショートの原因になります。

⚠ 注意

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと
絶縁劣化により、
火災感電の原因
になります。



使用者が、自分の身体を十分に安定させられない場合は、介助者が必ず付き添うこと

※イラストはポータブル
トイレ使用時です。

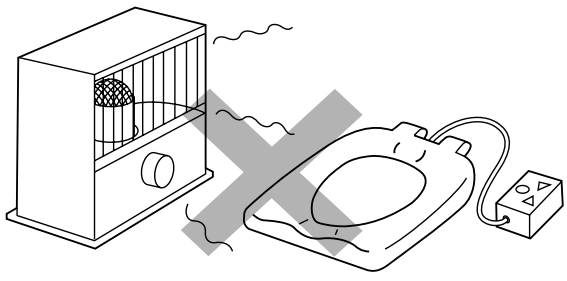
お子様・お年寄り・身体の不自由な人・皮ふ感覚の弱い人などが使用するときは、周囲が十分注意すること
低温やけどをおこすことがあります。
下半身マヒなど温度感覚のない方が暖房便座を長時間ご使用になる時は、スイッチボックスの電源スイッチを「切」にしてご使用ください。

便座を倒すとき、乱暴に扱わないこと
故障の原因になります。

便座や上蓋（座面）の上に、立たないこと
便座や上蓋（座面）が割れたり、けがや故障の原因になります。

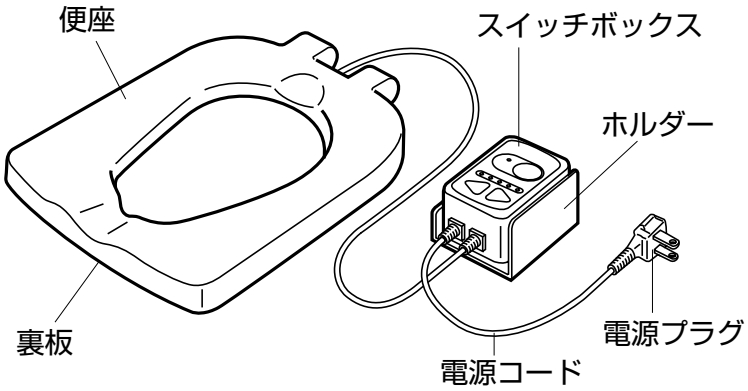
便座カバーはつけずに使用すること

直射日光が当たる場所や火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。



各部のなまえ

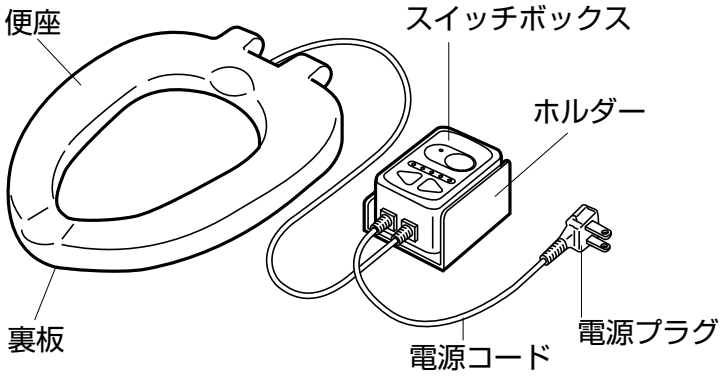
KX暖房便座



■仕様

品　名	KX暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	435×360×38mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.2kg

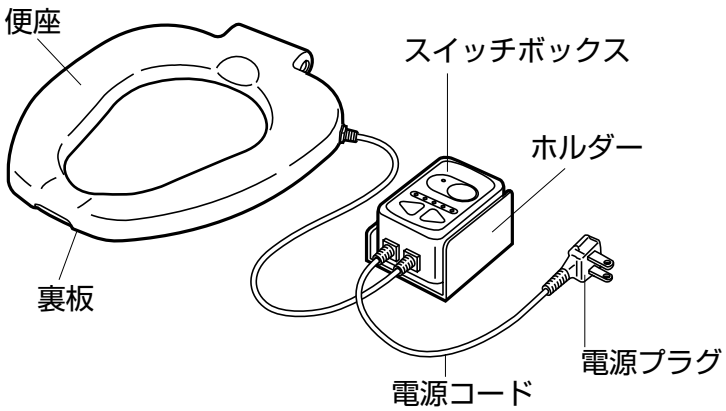
FX暖房便座



■仕様

品　名	FX暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	435×360×36mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.0kg

サニタリエース暖房便座



■仕様

品　名	サニタリエース暖房便座
材　質	便座・裏板：ポリプロピレン スイッチボックス・ホルダー：ABS樹脂
寸　法	436×348×42mm
定　格	交流100V-53W
表面温度	温度調節範囲約30～40℃
発熱体	チュービングヒーター
コード	ビニールコード （長さ本体側約0.9m、電源側約1.6m）
安全装置	温度ヒューズ
重　量	約1.1kg

電気代について

●標準消費電力は、室温10℃・便座温度35℃（便座温度調節ランプの中央点灯）で平均約18Wh。
1日24時間通電した場合、1日当たり約10円。
1ヵ月（30日）当り約360円が目安となります。（1kwh=25円39銭で計算）

便座表面温度について

室温5℃のとき、便座温度調節ランプの左端点灯（最低設定、黄色ランプ点灯）で約30℃、右端点灯（最高設定、赤ランプ点灯）で約40℃となります。

使いかた

組立て方法

●ポータブルトイレの場合

1 ポータブルトイレを組み立てる

①添付のポータブルトイレの取扱説明書に従ってトイレ部を組み立ててください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

①スイッチボックスは、ポータブルトイレ本体の左右どちらにでも固定できます。
②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーの両面テープ側が、トイレ本体の側面に合うようにします。
③ホルダーの離型紙をはがし、本体の側面にしっかりと固定してください。
この際、本体のポケット、ヒジかけ固定ピンなどの作動のじゃまにならないよう注意してください。
④スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

●サニタリエースの場合

1 サニタリエースを便器へ取りつける

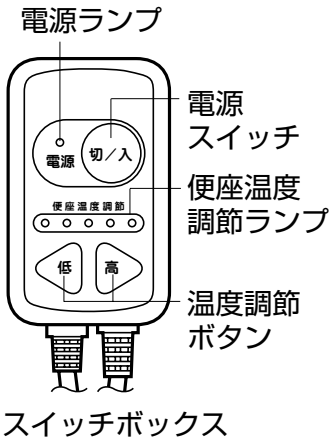
①添付のサニタリエースの取扱説明書に従ってサニタリエースを便器へ取りつけてください。

2 暖房便座のスイッチボックスを固定する

①電源コードが届く範囲の壁面にスイッチボックスの取りつけ位置を決めます。
②ホルダーからスイッチボックスをスライドさせ外し、ホルダーをスイッチボックス取りつけ位置に両面テープで固定してください。
③スイッチボックスをホルダーに差し込んでください。

使用方法

①電源プラグをコンセントに差し込むと、スイッチが入り電源ランプと便座温度調節ランプの中央ランプが点灯します。
②(高)(低)ボタンを押すとランプ表示が切換わり、便座表面の温度調節ができます。
③お好みの温度に調節してください。
※最低約30℃、最高約40℃（室温5℃のとき）の範囲で5段階に調節できます。



⚠注意 **長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておくこと**

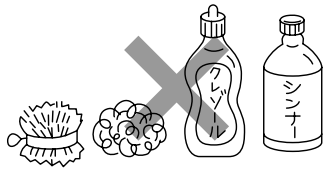
お手入れの方法

●普段のお手入れは

いつまでも気持ちよくお使いいただくために、小マメに汚れを落としてください。
汚れはスポンジかやわらかい布に、住居用洗剤（弱アルカリ性・中性）をふくませてふきとってください。

⚠注意

※便座・スイッチボックスには水をかけないこと
感電やショートの原因になります。
※タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
※塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
プラスチックが劣化または破損し、けがの原因になります。



故障かな？と思ったら

●修理などを依頼される前に、本書をよくお読みの上、次の点をお調べください。

こんなとき	調べるところ
電源スイッチを押しても ランプが点灯しない	電源プラグが確実に差し込まれていますか？
便座があたたかくない	電源が 「切」 になっていませんか？
	設定温度が低くなっていませんか？
便座があつい	設定温度が高くなっていませんか？
電源ランプが点滅し、 便座面があたたかくない	自動回路遮断が働きました。販売店に相談してください。

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

10.08

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル **0120-86-7735**

（受付時間）祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
（12:00～13:00はのぞく）

アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-22-1 五反田ANビル4階 TEL(03)5420-1556
FAX(03)5420-7750

東京支店 ☎(03)5420-1562
大阪支店 ☎(06)6448-5127
名古屋支店 ☎(052)203-0396
福岡支店 ☎(092)741-1411
仙台支店 ☎(022)291-5477
広島支店 ☎(082)245-7100
札幌営業所 ☎(011)709-6011

910556-1